

# 未来を開く

長井市立長井北中学校 No57 令和4年11月17日

## 生徒会役員選挙に向けて-その1-

来年度の北中のリーダーを選出する生徒会役員選挙の選挙管理委員が決定。「告示」を受けて、意欲、自覚、責任とともに、学校あげて選挙ムードを盛り上げたい。

令和5年度の、長井北中学校のリーダーを決める「生徒会役員選挙」が、12月15日(木)に行われ、即日開票されます。それに先立ち、11月15日(火)の朝会で選挙管理委員会から告示されました。

**告示**

長井北中学校生徒会規約及び長井北中学校生徒会選挙規定に基づき、令和5年度生徒会役員選挙を行う。

一、改選役員名・定数

生徒会長	一名(現二年生)
副会長	四名(現一・二年生から男女各一名ずつ)
議長	一名(現二年生)
副議長	二名(現一・二年生から各一名ずつ)
風紀委員長	一名(現二年生)
情報委員長	一名(現二年生)
図書委員長	一名(現二年生)
学芸委員長	一名(現二年生)
体育委員長	一名(現二年生)
保健安全	一名(現二年生)
給食	一名(現二年生)
応接	一名(現二年生)
ボランティア	一名(現二年生)

一、選挙日時(立会演説及び投票日)

十二月十五日(木) 五・六校時

一、選挙結果公表日

十二月十六日(金) 朝

一、立候補届出期間・時間

十一月二十五日(木)から十二月一日(木) 十三時十五分～十三時三十分までの十五分間

一、選挙活動期間

【期間】十二月八日(木)から十二月十四日(木)

【内容】挨拶運動・教室回り

長井市立長井北中学校生徒会選挙管理委員会

今年度は、選挙運動は12月8日(木)から12月14日(水)まで実施され、朝7時45分から7時55分までの時間帯に、生徒昇降口付近等で、

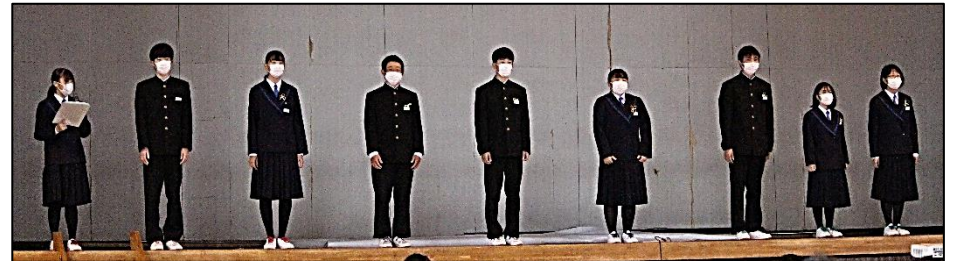
登校生徒への挨拶と呼びかけを行います。また、選挙ポスターも掲示します。

12月15日(木)には「立会演説会」も行われ、選挙運動期間中には候補者が各クラスを回り、決意等を伝える場も用意されています。

さらに、1、2学年では、生徒会役員選挙に向けて「学年集会」で意識を高めたり、現生徒会役員の代表から学校を背負う意味やリーダーとしての心構え、立候補にあたっての考え方を話してもらったりするなどの取り組みを行う予定です。

先輩の伝統を受け継ぎ、さらに発展させることができるよう、加えて長井北中学校のリーダーになるというしっかりした「自覚」を持って選挙運動に取り組めるようにしてほしいと思います。

## 令和4年度 長井北中学校選挙管理委員 を紹介します



	1年	2年	3年
1組	鈴木陸斗さん	鈴木 凌さん	竹田律生さん
2組	児玉果穂さん	椎名大地さん	今 滯来さん
3組	沼澤綺那さん	遠藤咲乃さん	高橋菜々花さん
4組			亀井美佳さん

選挙管理委員長:高橋菜々花さん 副委員長:竹田律生さん  
「公正な選挙に向け、ご協力よろしく申し上げます。」(委員長より)

# カギは、自己選択・決定力！！

ソーシャルメディアの利用で、  
自分・家族が被害にあわない・あわせないために

11月26日(水)、「令和4年度学校保健委員会」が本校で開催されました。学校保健委員会は、法的に開設が義務付けられた組織で、次のように定義されています。

「学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織である。学校保健委員会は、校長、養護教諭、栄養教諭などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし保健主事が中心となって運営する。」

この度参加いただいた方々は、以下のとおりです。

役職名	氏名	役職名	氏名
学校医	梅津 一彦さん	生徒会長	高木 心さん
学校歯科医	五十嵐康夫さん	生徒会副会長	中野 裕大さん
学校薬剤師	工藤 隆さん	〃	菅野 史華さん
長井市教育委員会 学校教育課	佐藤 愛美さん	〃	井上 更さん
長井市共同調理場 栄養教諭	佐藤 朋江さん	保健美化委員長	鈴木 心菜さん
P T A会長	小野 卓也さん	学校から、校長、教頭、養護教諭、 教務主任、各学年主任、生徒指導部 長、健康安全指導部長、体育主任が 参加しました。	
一学年部長	横山 真哉さん		
二学年部長	橋本 祐二さん		
三学年部長	我妻 昇さん		



最近、幼児期からのスマホ依存や思春期にスマホを使い過ぎることによる脳に与える悪影響、などが取りざ

たされるソーシャルメディア。

その適切な利用について、本校の生徒と保護者に実施したアンケートをもとに、各委員会からいただいたご意見を紹介いたします。

■PTAとして話題にしながら、適切な利用方法について、大人と子どもがともに学ぶ機会があればいい。

■SNSの利用時間や使い方など、各家庭で親子が話し合いルールを決めてはどうか。

■面白半分につぶやいたり写真をアップしたことが、「いじめ」や「誹謗・中傷」につながることもある。その危険性を、具体的な場面や扱い方から教えてほしい。

梅津先生、五十嵐先生、工藤先生からは次のようなご指導をいただきました。

◎SNS上では正誤混在した情報が存在している。正しい情報を取捨選択できる力を身に付けるのが大切である。そのためには、親子が何でも話せる関係性が大事である。



◎新型コロナウイルス感染予防に向けて、マスク着用、換気、ワクチンの接種等継続した取組みを徹底することが大事である。